

おかげさまで

作者不詳

夏がくると、冬がいいという

冬になると、夏がいいという

ふとるとやせたいという、

やせるとふとりたいという

忙しいと閑になりたいといい

閑になると忙しい方がいいという

自分に都合のいい人は善い人だとほめ

自分に都合が悪くなると、悪い人だと貶す

借りた傘も雨があがれば邪魔になる

金を持てば新しいものが欲しくなり

大事にしていたものさえ捨ててしまう

衣食住には不満はないが

上を見て不平不満に明け暮れ

隣を見て愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか

静かに考えてみるがよい

いったい自分とは何なのか

親のおかげ、

先生のおかげ、

世間さまのおかげ

そのかたまりが自分ではないのか

つまらぬ自我妄執を捨てて

得手勝手を慎んだら

世の中はきっと明るくなるだろう

おれが、おれがを捨てて

おかげさまで、おかげさまでと暮らしたい

(原文を一部変更しました)